



3年ぶりの遠足・集団宿泊

部長 勝木 茂

鮮やかに色づいていたキャンパス内の銀杏の葉も大部分が散り、季節は秋から冬へと少しずつ移っているようです。早いもので、2学期も残り約20日間、令和4年も残り1か月となりました。

さて、年度当初は9月中旬に予定をしていました1年生～3年生の遠足、4年生、5年生の宿泊体験学習を11月上旬に無事に実施することが出来ました。(新型コロナ感染状況から一度延期したもの)

6年生の修学旅行以外の「遠足・集団宿泊の行事」は実に3年ぶりの実施となりました。つまり、1年生のみならず2年生、3年生にとっても初等部での遠足は初めてとなり、4年生、5年生にとっても初めての宿泊体験学習となったわけです。どの学年の遠足も、宿泊体験学習も天気にも恵まれ、楽しく充実したものとなったようです。子どもたちの感想をいくつかご紹介いたします。

○あきのえんそくにいきました。どうぶつえんでは、ライオンときりんのあかちゃんについて、くわしくおしえてもらいました。オカビのしたのいろがあおいろでびっくりしました。らいねんもとてもたのしみです。

(1年生)

○えんそくがありました。バスの中から見えるけしきや空がきれいできもちがよくなりました。おべんとうがおいしくて、みんなでたべるおやつはいつもの10倍おいしくかんじました。(1年生)

○えん足で、よこはまズーラシアに行きました。しょうぶに入学してから、ずっと中止になっていたのですが、はじめてのえん足が楽しすぎて、前の日はドキドキしてねむれませんでした。ズーラシアには、家ぞくでは行ったことがあったけど、クラスのみんなど行くのはもっと、もっと楽しかったです。(2年生)

○どうぶつ園には、たくさんのどうぶつがいてびっくりしました。テングザルは本当にはながてんぐのはなに、にていることをはじめて知りました。インドゾウは、そうぞうよりも大きかったのでびっくりしました。いろいろなどうぶつを見られて楽しかったです。(2年生)

○3年生みんなと一緒に遠足に行きました。すごく楽しくて、その日のよるは、遠足のゆめを見ました。

(3年生)

○だんかずらにひみつがあるなんてはじめて知りました。二かいどう学しゃに行くまでに30分ぐらいかかりへとへとなりましたが、「おひるごはんがまっている」と思い気合いを入れてがんばりました。(3年生)

○宿泊体験学習で学んだことやできたことは、三つあります。一つ目は、ハイクの時ガイドの方の話で知った富士山と山中湖のなり立ちです。二つ目は、探検ラリーで、同じ班の三人で協力できたことです。協力は大切だと、改めて感じました。三つ目は、同じ部屋のみんなと一緒に話をしたり食事ができたりしてとても楽しかったことです。来年の宿泊体験学習も楽しみです。(4年生)

○宿泊体験学習に行きました。一番楽しかったのはハイクで、一番印象に残ったのは、キャンプファイヤーでした。終わりに近づいた頃、木が燃える「パチパチ」という音、風で木がゆれて「ザワザワ」という音が聞こえ、火の粉が空に飛んでいくのが見えました。キャンプファイヤーは、しゅう養のかねと同じで、落ち着く時間でもあるなと思いました。(4年生)

○アドベンチャープログラムで三つのミッションに挑戦しました。一つしか成功出来ませんでした。ファシリテーターが「失敗も学びだ」と言ってくれて、次どうするかをしっかりと考えることができました。(5年生)

○宿泊で身につけたことは、お互い協力するということです。私はアドベンチャープログラムで身に付きました。キャンプファイヤーでは、火を囲んでみんなで楽しんだり、一人で心を落ち着かせたりすることができてすっきりしました。お互い協力することをこれからも気を付けたいと思います。(5年生)

学校行事は、全校や学年を単位として学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動です。特に、遠足や宿泊体験学習は、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広めたり自然や文化に親しんだりする活動です。そしてそれらを通して、人間関係や集団生活の在り方、公衆道徳について学んでいくこととなります。

子どもたちの感想からは、充実した学習となったことが想像できます。事前の健康観察をはじめ、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。